

室蘭港が「釣り文化振興モデル港」に指定されました ～指定証交付式の開催～

室蘭市港湾部港湾管理課

令和6年8月7日、室蘭港が「釣り文化振興モデル港」(※)に指定され、9月8日に指定証の交付式を開催しました。

交付式は、むろらん港鉄人舟漕ぎ大会に併せて、多くの人で賑わう中で行われ、稲田雅裕国土交通省港湾局長の代理として、佐々木純国土交通省北海道開発局港湾空港部長から青山剛室蘭市長へ指定証が交付されました。青山市長は、「モデル港の指定を受け、今後、皆さんに安全に楽しんでもらえるよう釣り場開放に向けて協議を進める。室蘭港の魅力を全国に発信し、交流人口の増加につなげたい。」と述べました。

本港では、祝津絵鞆地区に集積する水族館や道の駅、温泉施設等の観光資源の魅力を生かした「まちのにぎわいづくり」の取組を推進しており、その1つとして、絵鞆臨海公園内の内防波堤及びボードウォークを釣り場の候補地として開放を検討しています。

令和6年6月に釣り場開放場所(候補地)で行われた実釣試験では、アブラコ、サクラマス、ヒラメ等全51匹の釣果がありました。

今後は、令和8年度以降の釣り場開放を目指し、安全対策や運営体制の検討整備、プレ開放を行う等取組

を進めて参ります。



釣り文化振興モデル港指定証交付式

※国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めており、地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、「釣り文化振興モデル港」として指定しています。

